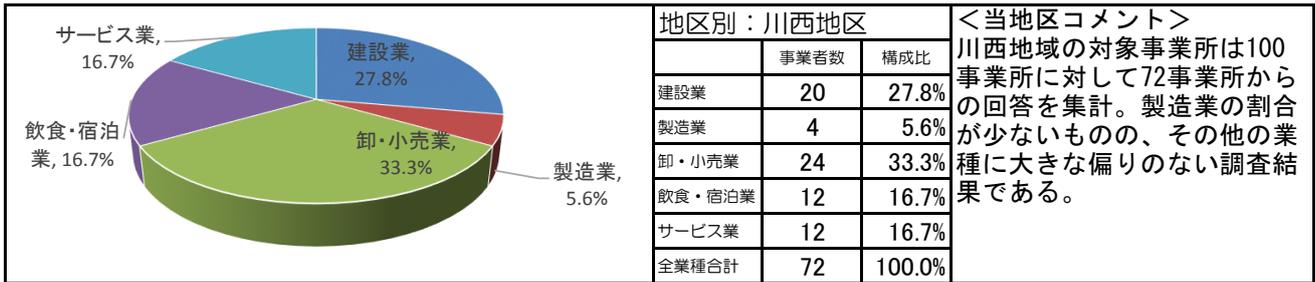
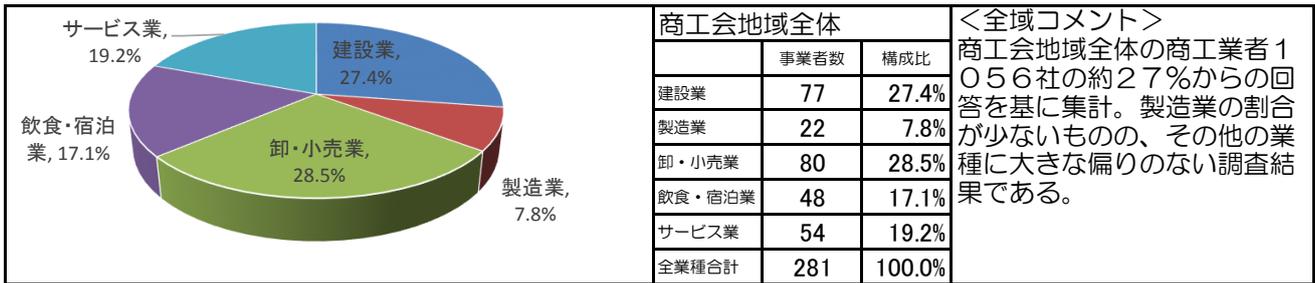


十日町市商工会地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (H29.1.1~H29.3.31) 川西地区

小規模事業者以外含む全事業所

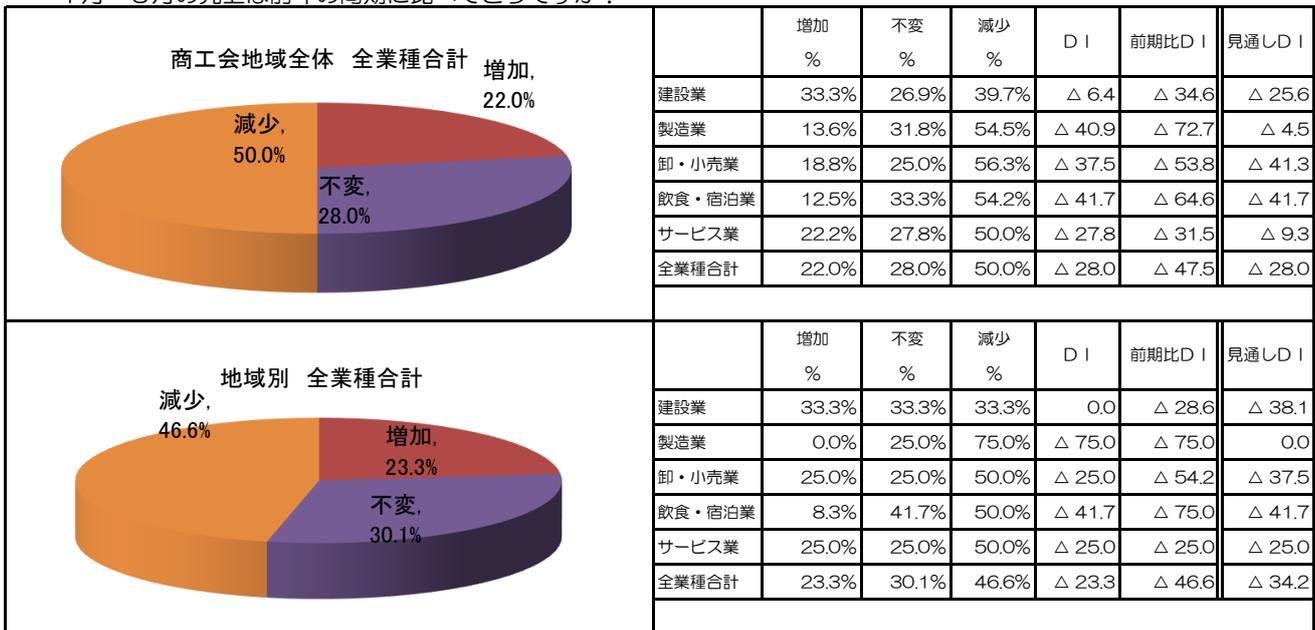
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・1月~3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



＜全域コメント＞ 売上は、前年同期と比べると全業種で△28ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少が目立つ。前期比では、全業種で△47.5ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少幅が大きい。今後の見通しでは、全業種△28ポイント減少予想であるが、前回調査見通しと比較すると29ポイント改善している。

＜当地区コメント＞ 売上は、前年同期と比べると全業種で△23.3ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少が目立つ。前期比では全業種で△46.6ポイントの減少となっており、製造業、飲食・宿泊業の減少幅が大きい。今後の見通しでは、製造業が前期と同じとなっているが他の業種では△34.2ポイント減少の予想であるが、前回調査見通しと比較すると13ポイント改善している。

2. 採算について

・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	26.9%	35.9%	37.2%	△ 10.3	△ 26.9	△ 28.2
		製造業	13.6%	31.8%	54.5%	△ 40.9	△ 72.7	△ 9.1
		卸・小売業	12.7%	34.2%	53.2%	△ 40.5	△ 57.0	△ 45.6
		飲食・宿泊業	10.4%	39.6%	50.0%	△ 39.6	△ 56.3	△ 35.4
		サービス業	17.0%	50.9%	32.1%	△ 15.1	△ 22.6	△ 11.3
		全業種合計	17.1%	38.6%	44.3%	△ 27.1	△ 43.2	△ 29.6
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	19.0%	52.4%	28.6%	△ 9.5	△ 28.6	△ 42.9
		製造業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 75.0	0.0
		卸・小売業	16.7%	41.7%	41.7%	△ 25.0	△ 45.8	△ 50.0
		飲食・宿泊業	8.3%	33.3%	58.3%	△ 50.0	△ 75.0	△ 41.7
		サービス業	16.7%	58.3%	25.0%	△ 8.3	△ 25.0	△ 25.0
		全業種合計	15.1%	45.2%	39.7%	△ 24.7	△ 43.8	△ 39.7

<全域コメント> 採算は、前年同期と比べて全業種△27.1ポイント減少。製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業が約40ポイント減少している。前期比では、全業種△43.2ポイント減少。特に製造業の減少が目立つ。今後の見通しでも、全業種△29.6ポイント減少予想であるが、前回調査見通しとの比較では24.4ポイント改善している。

<当地区コメント> 採算は、前年同期と比べて全業種△24.7ポイント減少。製造業が△75ポイント減少している他飲食・宿泊業も△50ポイント減少している。前期比では、全業種△43.8ポイント減少しており、特に製造業、飲食・宿泊業の減少が目立つ。今後の見通しでは、全体で△39.7ポイント減少と予想しており、前回調査見通しとの比較では7.5ポイント改善している。

3. 仕入単価について

・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	23.1%	67.9%	9.0%	14.1	10.3	24.4
		製造業	31.8%	68.2%	0.0%	31.8	27.3	13.6
		卸・小売業	27.8%	60.8%	11.4%	16.5	11.4	15.2
		飲食・宿泊業	47.9%	45.8%	6.3%	41.7	35.4	33.3
		サービス業	13.5%	82.7%	3.8%	9.6	3.8	11.5
		全業種合計	27.6%	64.9%	7.5%	20.1	15.1	20.1
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	14.3%	76.2%	9.5%	4.8	0.0	14.3
		製造業	50.0%	50.0%	0.0%	50.0	50.0	50.0
		卸・小売業	16.7%	62.5%	20.8%	△ 4.2	△ 12.5	4.2
		飲食・宿泊業	66.7%	33.3%	0.0%	66.7	58.3	75.0
		サービス業	16.7%	83.3%	0.0%	16.7	8.3	8.3
		全業種合計	26.0%	64.4%	9.6%	16.4	9.6	21.9

<全域コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて全業種20.1ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業と製造業の上昇が目立つ。前期比でも全業種15.1ポイント上昇。今後の見通しでも全業種20.1ポイント上昇予想である。又、前回調査見通しとの比較では9.6ポイント上昇である。特に、飲食・宿泊業は上昇傾向であり、売上原価を押し上げている。

<当地区コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて卸・小売業では、△4.2ポイントの減少となったが、他業種はすべて上昇している。前期比でも全業種合計で9.6ポイントの上昇。今後の見通しでも全業種21.9ポイントの上昇予想である。前回調査と比較しても9ポイント上昇であり、特に飲食・宿泊業は上昇傾向であり売上原価を押し上げている。

4. 販売（客）単価について

・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	7.7%	71.8%	20.5%	△ 12.8	△ 14.1	△ 7.7
	製造業	4.8%	76.2%	19.0%	△ 14.3	△ 14.3	0.0
	卸・小売業	11.4%	54.4%	34.2%	△ 22.8	△ 31.6	△ 30.4
	飲食・宿泊業	6.3%	56.3%	37.5%	△ 31.3	△ 41.7	△ 33.3
	サービス業	5.8%	76.9%	17.3%	△ 11.5	△ 11.5	0.0
	全業種合計	7.9%	65.5%	26.6%	△ 18.7	△ 23.4	△ 16.5
	見通し						
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	9.5%	66.7%	23.8%	△ 14.3	△ 23.8	△ 14.3
	製造業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	0.0
	卸・小売業	4.2%	62.5%	33.3%	△ 29.2	△ 37.5	△ 33.3
	飲食・宿泊業	0.0%	58.3%	41.7%	△ 41.7	△ 41.7	△ 41.7
	サービス業	0.0%	91.7%	8.3%	△ 8.3	△ 8.3	△ 16.7
	全業種合計	4.1%	67.1%	28.8%	△ 24.7	△ 30.1	△ 24.7
	見通し						

<全域コメント> 販売単価は、前年同期と比べて全業種△18.7ポイント低下。前期比でも△23.4ポイント低下。今後の見通しでも△16.5ポイント低下予想である。特に、飲食・宿泊業の低下が目立つ。しかし、前回調査見通しとの比較では全体で12.7ポイント改善しているが、卸・小売業と飲食・宿泊業では、改善が見られない。

<当地区コメント> 販売単価は、前期比と比べて全業種で24.7ポイント低下。前期比でも△30.1ポイント低下している。今後の見通しでも△24.7ポイント低下予想である。特に飲食・宿泊業の低下予想が目立ち、需要の停滞が見受けられるが、前回調査見通しとの比較では△7.8ポイントの改善がみられる。

5. 資金繰りについて

・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

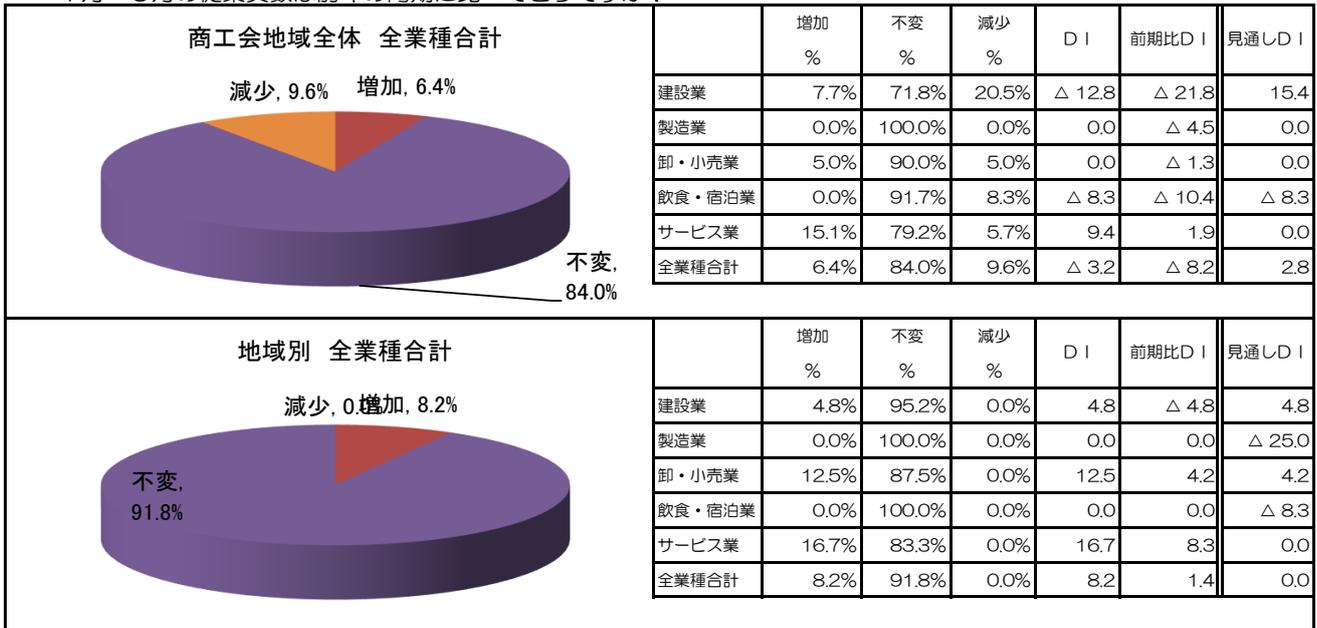
商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	19.2%	60.3%	20.5%	△ 1.3	△ 12.8	△ 11.5
	製造業	0.0%	77.3%	22.7%	△ 22.7	△ 27.3	△ 13.6
	卸・小売業	5.0%	62.5%	32.5%	△ 27.5	△ 33.8	△ 27.5
	飲食・宿泊業	4.2%	68.8%	27.1%	△ 22.9	△ 33.3	△ 33.3
	サービス業	9.4%	79.2%	11.3%	△ 1.9	△ 9.4	△ 7.5
	全業種合計	9.3%	67.3%	23.5%	△ 14.2	△ 22.8	△ 19.2
	見通し						
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	14.3%	66.7%	19.0%	△ 4.8	△ 19.0	△ 19.0
	製造業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	卸・小売業	4.2%	62.5%	33.3%	△ 29.2	△ 33.3	△ 37.5
	飲食・宿泊業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 33.3	△ 33.3
	サービス業	8.3%	83.3%	8.3%	0.0	0.0	0.0
	全業種合計	6.8%	69.9%	23.3%	△ 16.4	△ 23.3	△ 23.3
	見通し						

<全体コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて全業種△14.2ポイント悪化。前期比でも、全業種で△22.8ポイント悪化している。今後の見通しでも、全業種△19.2ポイント悪化を予想している。又、前回調査見通しとの比較では、14.9ポイント改善しているが、卸・小売業と飲食・宿泊業は、悪化傾向であり、注視する必要がある。

<当地区コメント> 資金繰りは、前年同期と比べてサービス業を除く全業種で△16.4ポイント悪化。前期比でもサービス業を除く全業種で△23.3ポイント悪化している。今後の見通しでも業種全体では△23.3ポイント悪化の見通しで特に卸・小売業、飲食・サービス業は悪化傾向である。製造業、サービス業は前回調査のマイナスポイントから改善がみられる。

6. 従業員数について

・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

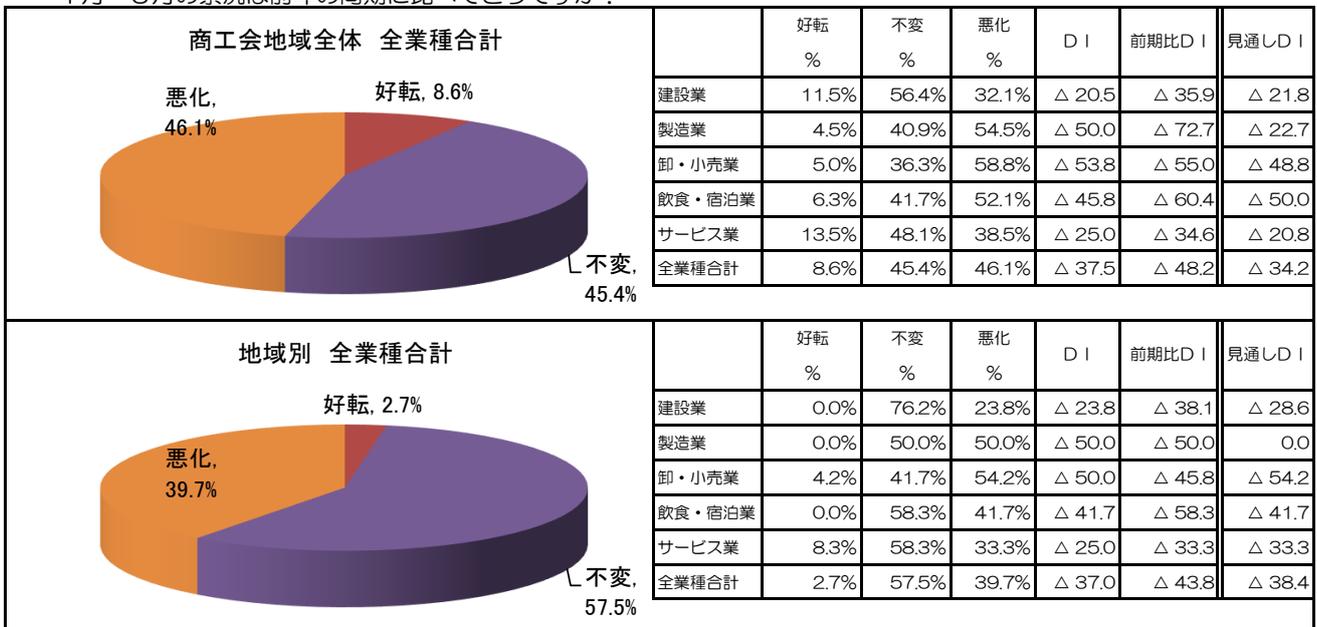


<全域コメント> 従業員数は、前年同期と比べて建設業と飲食・宿泊業で減少、サービス業は増加。前期比では、サービス業以外は減少し、今後の見通しでは、建設業が増加、飲食・宿泊業が減少予想となっている。又、前回調査見通しとの比較では、全業種で11.5ポイント改善している。

<当地区コメント> 従業員数は、前年同期と比べて製造業、飲食・宿泊業は変わらなかったが建設業、卸・小売業、サービス業で増加。今後の見通しでは、建設業、卸・小売業が増加、製造業、飲食・宿泊業が減少予想となっている。前回調査見通しとの比較では全業種で2.9ポイント改善している。

7. 景況判断について

・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

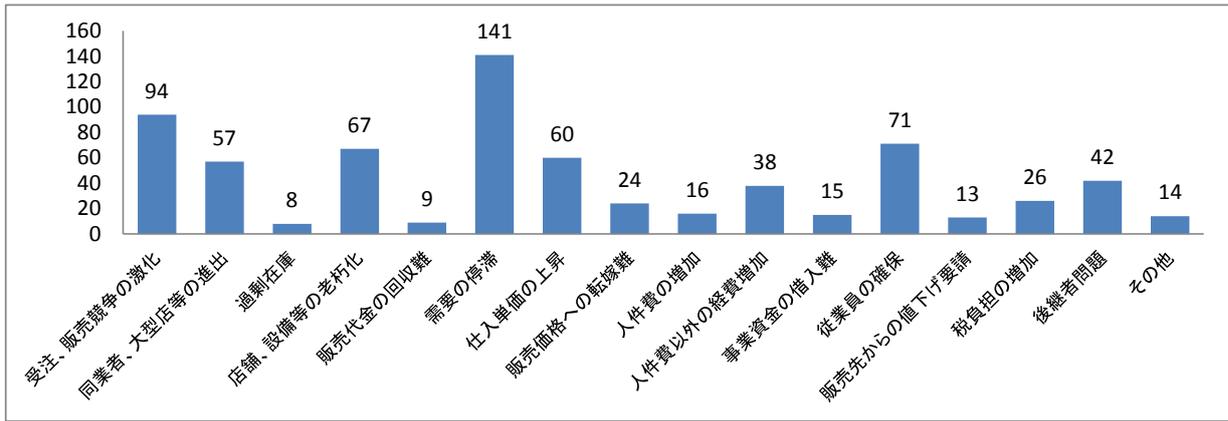


<全域コメント> 景況判断は、前年同期と比べて全業種△37.5ポイント悪化。製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業の悪化が目立つ。前期比では、全業種△48.2ポイント悪化。製造業と飲食・宿泊業の悪化が目立つ。今後の見通しでも、全業種△34.2ポイント悪化予想。前回調査見通しとの比較では、22.1ポイント改善予想している。

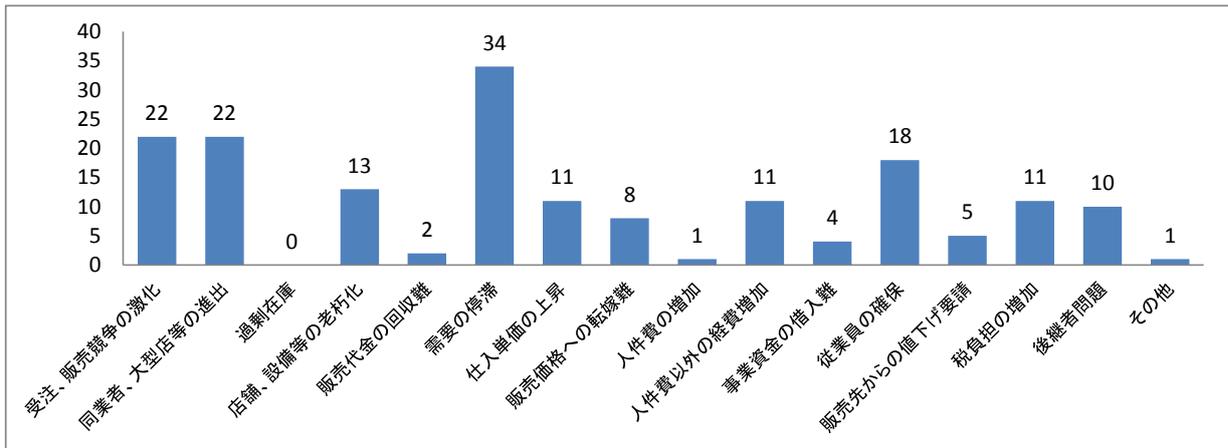
<当地区コメント> 景況判断は、前年同期と比較して全業種で△37.0ポイント悪化。製造業、卸・小売業の悪化が目立つ。前期比では全業種△43.8ポイント悪化。今後の見通しでも全業種△38.4ポイント悪化予想。前回調査見通しとの比較では、13ポイント改善している。

8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



＜全域コメント＞ 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「従業員の確保」4位「店舗、設備等の老朽化」となり、前回調査との比較で、2位と3位が入れ替わった。又、仕入単価の上昇を問題点に上げた方が大きく増えた。

＜当地区コメント＞ 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」・「同業者、大型店等の進出」3位「従業員の確保」4位が「店舗、設備等の老朽化」となり、前回調査との比較で前回3位の「同業者、大型店等の進出」が2位となった。「需要の停滞」が4期連続で1位となった。

9. 後継者の状況について

・1月～3月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	41.6%	58.4%
製造業	59.1%	40.9%
卸・小売業	28.8%	71.3%
飲食・宿泊業	43.8%	56.3%
サービス業	42.6%	57.4%
全業種合計	39.9%	60.1%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	50.0%	50.0%
製造業	50.0%	50.0%
卸・小売業	37.5%	62.5%
飲食・宿泊業	33.3%	66.7%
サービス業	66.7%	33.3%
全業種合計	45.8%	54.2%

＜全域コメント＞

後継者の状況は、全業種合計60.1%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業では、71.3%の事業所で後継者がいない。

＜当地区コメント＞

川西地域での後継者の状況は全業種54.2%で後継者がいない状況である。特に、飲食・宿泊業では66.7%の事業所で後継者がいない。

10. 地域全体の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

<全域コメント>

【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、材料単価の上昇により工事原価が増加し、受注単価の減額と受注工事の減少により採算が悪化している。前期との比較では、材料費の上昇による工事原価の上昇と当地域の特性である冬場工事の減少により採算が悪化し、資金繰りも容易でない状況である。今後の見通しでも、例年通り工事発注が鈍く、短期雇用者の雇入れ及び材料費の上昇により支出が増加していくことから楽観視していない。又、経営上の問題点として、1位「受注、販売競争の激化」、2位「需要の停滞」となっており、この項目からも厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は24.4ポイント改善予想をしている。

【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると、材料単価の上昇により製造原価が増加し、受注単価の減額と売上減少により採算が悪化し、資金繰りにも影響を及ぼしている。前期との比較でも、この悪化傾向は深刻になっているが、今後の見通しでは、材料単価の上昇はあるものの、売上回復を見込んでおり、明るい兆しが見える。経営上の問題点として、前回「需要の停滞」が群を抜いていたが、今回2位「受注、販売競争の激化」、3位「従業員の確保」とほとんど差のない回答数となっていることから、明るい兆しが見えている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は34.6ポイント改善予想をしている。

【卸・小売業】

今期の景況を前年同期と比較すると、仕入単価の上昇と販売単価及び売上の減少により採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず更に悪化し、今後の見通しでも、更に厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は21.5ポイント改善予想である。又、経営上の問題点のトップ3は、前回と同様に「需要の停滞」「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」と外部要因となっている。

【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期と比較すると、仕入単価の上昇と販売単価及び売上の減少により採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず更に悪化し、今後の見通しでも、更に厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は21.8ポイント改善予想である。又、経営上の問題点は、1位「店舗、設備等の老朽化」となり、内部要因が1位となった他、内部要因の「従業員の確保」も4位となっている。

【サービス業】

今期の景況を前年同期と比較すると、従業員数を増やしたものの売上が減少し採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向は変わらず、今後の見通しでは、売上増加を予想し、採算も回復していくと予想しているが、経営上の問題点として「需要の停滞」の回答数が群を抜いており、回復予想は希望的と思われる面もある。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は13.3ポイント改善予想である。

以上の業種別景況概要を踏まえると、前年同期と比較すると売上原価の上昇と売上単価の減額並びに売上減少により採算が悪化していると言える。前期(秋)と比べても悪化傾向にあり、今後の見通しでは、製造業とサービス業に明るい兆しが見えるものの、全体としては厳しい状況に変わりないと思われるが、前回調査見通しとの比較では、売上は29ポイント改善予想をしており、若干の期待感が窺える。

<当地区コメント>

【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、全ての項目で悪化した。今後の見通しについても売上が「不変」または「減少」と予想しており、厳しい状況となっている。経営上の問題点として1位「受注、販売競争の激化」2位「需要の停滞」3位「税負担の増加」となっている。前回3位に「従業員の確保」があったが今回は下位となった。

【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると前期調査では「仕入単価」が低下する予想となったが、今回の調査では横ばいの状況となった。「売上」が伸び悩む中、採算性を上昇させるには厳しい状況となっている。景況判断も前年同期と比較して△50ポイントの減少で見通しも今回から改善する回答は無く今後も厳しい状況が予想される。経営上の問題点として1位「従業員の確保」2位「仕入単価の上昇」「店舗、設備の老朽化」「後継者問題」が同率となっている。

【卸・小売業】

今期の景況を前年同期と比較すると、全ての項目で悪化した。売上が減少しているのに加えて客単価の減少もあって採算性が悪化している。前期調査で売上の見通しについて△50ポイントだったが、今期調査では△37.5ポイントと12.5ポイント改善しており、今後は期待感が持てる。経営上の問題点として1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」となっており、需要が低迷する中、大型店への消費の流出が見取れる。

【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期と比較すると、売上の減少と仕入単価の上昇、客単価の減少で採算が悪化した。売上の見通しでは前回調査より22.6ポイント改善されている。経営上の問題点は1位「仕入単価の上昇」・「店舗、設備等の老朽化」2位「需要の停滞」3位「従業員の確保」となっている。経営上の問題点でも掲げている仕入単価の上昇が採算性を圧迫している。

【サービス業】

今期の景況を前年同期と比較すると、売上△25ポイント悪化、採算△15.1ポイント悪化、今後の景況判断も△33.3ポイントの悪化となっている。しかし、売上で前年同期比増加の事業所もあり今後に期待ができる。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「同業者、大型店等の進出」・「店舗、設備等の老朽化」となっている。

以上、業種別景況概要を踏まえると川西地域全業種で前年同期と比較して需要の停滞、売上の減少と仕入単価の上昇により採算性が悪化している。今後の見通しは売上が前期調査と比較して13ポイント改善が見られ、資金繰りも前期調査と比較すると11.9ポイント改善されている。売上の減少に伴って採算は悪化しているが改善の期待感も持てる。また、後継者不在も全体の58.9%あり今後の課題となる。